

先進事例

<概要>

新庁舎整備事例	概要
東京都立川市役所	①人口：174,743人 ②完成年次：平成 22 年度 ③敷地面積：11,000.41 m ² ④建築面積：6,807.01 m ² ⑤延床面積：25,814.20 m ² （うち地下駐車場面積：5,798.69 m ² ） ⑥規模：地上 4 階・地下 1 階（4 階は塔屋、機械室等） ⑦構造：地上階 プレストレストコンクリート造、鉄骨造 地下階 鉄筋コンクリート造 免震構造 ⑧駐車場：178 台（内：大型駐車場 4 台、普通駐車場 174 台） 駐輪場：500 台（内：バイク 90 台）
東京都青梅市	①人口：139,854人 ②完成年次：平成 22 年 5 月 ③敷地面積：16,046 m ² ④建築面積：4,957 m ² ⑤延床面積：22,097 m ² （うち地下駐車場 4574.9 m ² ） ⑥規模：地下 1 階地上 7 階一部 4 階 ⑦構造：鉄骨鉄筋コンクリート（一部鉄骨）造、免震構造 ⑧駐車場：235 台（地上 178 台、地下 57 台）、駐輪場：150 台
東京都町田市	①人口：418523人 ②完成年次：平成 24 年 ③敷地面積：15,644.1 m ² ④建築面積：7,664.6 m ² ⑤延床面積：41,510.1 m ² （うち駐車場部分 4,194.6 m ² ） ⑥規模：地下 1 階、地上 10 階、塔屋 2 階 ⑦構造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 ⑧駐車場：約 380 台
神奈川県平塚市	①人口：292,684人 ②完成年次：平成 24 年（一部供用開始目標） ③敷地面積：約 16,540 m ² ④建築面積：9,090 m ² ⑤延床面積：約 35,000 m ² （駐車場棟は約 10,000 m ² ） ⑥規模：地上 8 階、地下 2 階 ⑦構造：鉄骨鉄筋コンクリート造+ 鉄骨造 ⑧駐車場：約 200 台（障がい者用駐車場 6 台含む）
千葉県浦安市	①人口：164,423人 ②完成年次：平成 24 年 ③敷地面積：約 42,000 m ² ④建築面積：不明 ⑤延床面積：27,000 m ² ⑥規模：不明 ⑦構造：不明 ⑧駐車場：約 150 台

新庁舎整備事例	備考
東京都福生市	<p>①人口：61,047人 ②完成年次：平成20年4月</p> <p>③敷地面積：東側 4,759 m²・西側 1,033 m²</p> <p>④建築面積：東側 3,339.6 m²・西側 26.5 m²</p> <p>⑤延床面積：東側 10,403.9 m²・西側 838.7 m² (うち地下駐車場 2,431 m²)</p> <p>⑥規模：東側 地上5階、地下1階・西側 地上2階、地下1階</p> <p>⑦構造：鉄筋コンクリート造</p> <p>⑧駐車場：103台(来庁者用76台(地下)、庁用約27台)</p>
福島県福島市	<p>①人口：292,684人 ②完成年次：平成22年10月(東棟) 平成24年11月(西棟)</p> <p>③敷地面積：約 20,000 m²</p> <p>④建築面積：東棟 3,619.10 m²・西棟 1,809.01 m²</p> <p>⑤延床面積：東棟 27,251.57 m²・西棟 8,113.34 m² (地下駐車場は設けていない)</p> <p>⑥規模：地上11階(東棟) 地上6階(西棟)</p> <p>⑦構造：鉄骨鉄筋コンクリート造</p> <p>⑧駐車場：東棟 107台・西棟 93台</p>
茨城県つくば市	<p>①人口：201,986人 ②完成年次：平成22年5月</p> <p>③敷地面積：約 75,000 m² ④建築面積：6192 m²</p> <p>⑤延床面積：21,004 m² (地下駐車場は設けていない)</p> <p>⑥規模：地上7階</p> <p>⑦構造：鉄筋コンクリート造(PC造)、一部鉄骨造 免震構造</p> <p>⑧駐車場：1200台(内：障害者用14台)、駐輪場：210台</p>

<他市事例における新庁舎建設基本構想の基本理念の内容>

新庁舎整備事例	基本構想での基本理念
東京都立川市役所	(1) 市民自治の拠点としての庁舎 (2) 市民参画で建設していく庁舎 (3) 経済的合理性に優れたスリムな庁舎 (4) 人や地球環境に対するやさしさをアピールする庁舎 (5) 周辺まちづくりを先導する美しい庁舎
東京都青梅市	(1) 市民サービスの向上 (2) 高齢者、障害者等への対応 (3) 防災拠点の形成 (4) 行政情報等の場の提供 (5) 時代の変化への対応
東京都町田市	(1) 市民にひらかれた行政経営の場としての庁舎 (2) 将来を見据えた柔軟で効率的な行政経営の場としての庁舎 (3) 交流・連携し、協働できるまちのセンターとしての庁舎 (4) さらに新庁舎計画に反映すべき視点
神奈川県平塚市	(1) 自治の基本に立ったまちづくりの拠点＝新庁舎
千葉県浦安市	(1) 「親しみ」を感じる庁舎 (2) 「やさしさ」を象徴する庁舎 (3) 「防災」の拠点となる庁舎
東京都福生市	(1) 市民に関われた市役所と市議会をめざし、“市民とともにある新庁舎”。 (2) “市民と行政の協働を実現できる新庁舎モデル” (3) 情報交換、コミュニケーションが可能で市民参画をうながす機能と場所。 (4) 中心市街地の再編を目指し、福生市の新たな顔として、市民にとって魅力的で共感できる施設計画、環境計画、景観計画。 (5) 業務効率と行政サービスの向上、行政満足度向上のための創意工夫が実現でき、社会的変化や行政的な変化に対応できる施設計画、管理運営に基づいた新庁舎。 (6) 災害時においても平常時においても市民の安全と安心が確保でき、防災、国際性にも対応した、市民の信頼に込められるユニバーサルな新庁舎。 (7) 市民による検討委員会を継続的に設置、活用して、基本設計・実施設計・建設・運営等の各段階において市民と行政の協働を実現。 (8) 新庁舎建設を機に行政システムを見直し、職員と議員が意識を一新し、市民の期待と信頼の得られる魅力的な自治体となるための創意工夫と努力。
福島県福島市	(1) 市民、街なか、広域に関われた庁舎づくり ① 新庁舎は、市民の市政への参加、行き届いた市民サービスの提供、NPO等の市民活動の交流の場とするため、市民に対して開かれた施設とする。 ② 新庁舎は、中心市街地の活性化に向けたまちづくりに寄与し、市民生活の安全、安心を支援する拠点として、街なかに対して開かれた施設とする。 ③ 新庁舎は、地方分権時代の市町村間連携の強化を図るため、広域に対して開かれた施設とする。
茨城県つくば市	(1) 地方分権と行政サービス (2) 行政の情報化と事務のあり方 ① 行政情報の提供 ② 行政事務処理の的確性向上 ③ 即地的地域情報の把握 ④ 庁舎管理の合理化 (3) 市民協働と行政サービスの対応 ① つくば市の将来生活像 ② 住民の協力意識 ③ 住民の期待と行政の役割

<他市事例における新庁舎建設基本構想の基本方針の内容>

新庁舎整備事例	基本構想での基本方針
東京都立川市役所	(1) 人にやさしいユニバーサルデザインへの配慮 ① 誰もが自然に利用できるための工夫 ② 自然な交流とふれあいを生み、庁舎を一層利用しやすくする工夫 (2) 地球環境や周辺環境への配慮 ① 新庁舎周辺の自然環境・歴史性を生かした環境整備 ② 省エネ・省資源・自然エネルギー利用の庁舎 ③ 環境に配慮した取り組みや資材・機能の選択 ④ 環境に学べる庁舎 (3) 景観形成や周辺環境との関係への配慮 ① まちの景観形成への配慮 ② 周辺環境との関係への配慮 (4) 耐震性や長期にわたる維持管理への配慮 ① 耐震性・耐久性への配慮 ② 維持管理しやすさを考慮した設計 (5) 情報化への配慮
東京都青梅市	(1) 分かりやすく利用しやすい機能や安全性に配慮するとともに、市民の触れ合いの場として親しまれる庁舎とする。 (2) 高齢者・障害者はもとより、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインが図られた庁舎とする。 (3) 議会の独立性を保ち、行政部門との連携を図ることができる庁舎とする。 (4) 地震等災害時の防災拠点としての機能を有する庁舎とする。 (5) 環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）を考慮し、省エネルギー時代に即応した経済的で維持管理のしやすい庁舎とする。 (6) 高度情報化など今後の行政需要の変化に対応可能な庁舎とする。
東京都町田市	(1) 今後の社会と境に求められる理念を実現 ① 21世紀の社会と環境に求められる機能とデザインを実現した庁舎 ② 便利で使いやすく気軽に立ち寄れる庁舎 ③ 諸機能が適切に配置され将来の変化に柔軟に対応できる庁舎 (2) 周辺の街の発展に貢献 ① 市民に親しまれる庁舎 ② まちづくりに貢献する庁舎 (3) 市民の納得度と満足度の高い庁舎を実現 (4) 新庁舎建設までの準備期間を活用
神奈川県平塚市	(1) 市民に関われ親しまれる庁舎 (2) 人と地球環境にやさしい庁舎 (3) 市民の安心・安全な暮らしを支える拠点としての庁舎 (4) 市民サービス、事務効率の向上を目指した機能的な庁舎
千葉県浦安市	① 使いやすく便利な庁舎 ② 地球環境に配慮した庁舎 ③ 災害に備えた防災拠点となる庁舎 ④ 分かりやすい案内や相談窓口の充実した庁舎 ⑤ 経費を削減し経済的な庁舎 ⑥ IT技術の活用と人の対応を兼ね備えた庁舎 ⑦ ユニバーサルデザインをめざした庁舎 ⑧ 市民協働の拠点となる庁舎 ⑨ 効率的な行政経営の場としての庁舎 ⑩ 浦安公園を中心とするシビックセンターコア地区の形成

新庁舎整備事例	基本構想での基本方針
東京都福生市	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民を守る防災拠点の整備 (2) 市民サービスと機能の充実 (3) 簡素で効率的、経済的な庁舎 (4) 合併後にも対応可能な庁舎
福島県福島市	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民参加・市民交流の促進 (2) 21世紀の行政事務の実現（市民サービスの高度化） (3) 安全・安心の拠点づくり (4) ユニバーサルデザインと環境共生への取り組み (5) 街なかにふさわしい生活環境の回復と創造 (6) 広域連携の拠点づくり
茨城県つくば市	<ul style="list-style-type: none"> (1) 環境にやさしく安全な庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ① 省エネルギー、省資源、持続可能性の工場 ② 地域防災拠点 ③ 安全性能の確保 (2) 人にやさしく親しまれる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ① ユニバーサルデザイン ② 市民の集う場 ③ 効率的で働きやすい執務の場 (3) つくばらしさを発信する庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ① 科学技術都市にふさわしい庁舎 ② 国際都市にふさわしい庁舎 ③ 田園都市にふさわしい庁舎

<他市事例における新庁舎建設基本構想の導入機能の内容>

新庁舎整備事例	基本構想での導入機能
東京都立川市役所	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民自治の拠点機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 市民と行政の協働を支え、市民の自治活動を推進する機能 ② 総合情報機能 ③ 市民交流・情報発信を支える機能 (2) 便利でわかりやすい市民サービス機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 案内機能 ② 窓口機能 ③ 相談機能 ④ 出先機関等とのネットワーク (3) 防災センターとしての機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 災害対策本部機能 ② ライフライン・備蓄機能 ③ 避難誘導體制の整備 (4) 市民に親しみやすい議会機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 本会議・委員会 ② 傍聴・情報提供機能 ③ 調査研究機能 ④ 市民利用を想定した機能 (5) 効率的で職員が働きやすい行政機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 執務機能 ② 収納機能 ③ 会議・打合せ機能 ④ 福利厚生 (6) 適切な駐車・駐輪機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 駐車場 ② 駐輪場 (7) 適切な機能配置 <ul style="list-style-type: none"> ① 空間の有効利用 ② 市民利用や交流に配慮した機能配置 ③ セキュリティに配慮した機能配置 ④ 議会部門の配置 ⑤ 駐車場・駐輪場の配置
東京都青梅市	※基本方針と同様
東京都町田市	<ul style="list-style-type: none"> (1) 21世紀の社会と環境に求められる機能とデザインを実現した庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ①ユニバーサルデザインを実現 ②環境の持続性と健康に配慮した庁舎 ③災害等への安全・安心を確保した庁舎 ④高度情報化社会に対応できる庁舎 ⑤美しい街並みの実現に貢献 (2)便利で使いやすく気軽に立ち寄れる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ①本庁舎と市民センターとの適切な役割分担と連携 ②市民との協働スペースを確保 ③市民に便利なワンストップサービスを導入 ④開庁時間に柔軟に対応できる庁舎 ⑤情報提供サービス機能を充実 (3)諸機能が適切に配置され将来の変化に柔軟に対応できる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ①庁舎の諸機能の適切な配置 ②将来の使い方の変化に柔軟に対応できる庁舎 ③合理的な維持管理や改修が行える庁舎 ④長寿命を実現できる庁舎 (4)市民に親しまれる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ①街並みをリードする庁舎を実現 ②安全で快適に来庁できるアクセス路を整備 ③総合的な検討をふまえて駐車場・駐輪場を整備 ④中町地域、森野地域のまちづくりのあり方を検討 (5)市民の納得度と満足度の高い庁舎を実現 <ul style="list-style-type: none"> ①建設費用、維持管理費用を削減 ②費用の節減とより良い施設を実現できる発注方法を採用 ③公正で納得の得られる設計者、施工者を選定 (6)新庁舎建設までの準備期間を活用

新庁舎整備事例	基本構想での導入機能
神奈川県平塚市	<p>(1)全体に共通する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ユニバーサルデザイン ②防災拠点 ③高度情報通信システム、フレキシブル ④地球環境に配慮した環境負荷の低減、自然エネルギーの積極的導入 <p>(2)窓口機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合案内や窓口は市民が利用しやすい低層階に配置 ②ワンストップサービスの導入 ③待合スペースを確保、市民ニーズの充実 ④相談室はプライバシーに配慮したづくり <p>(3)執務機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①時代の変化や機能の変化にフレキシブルに対応できるオープンフロアー ②打合せコーナーを効率的に配置 ③用途に応じた適切な規模の会議室を配置、コピーや軽作業をおこなうワークスペース ④文書類の電子データ化、効率的な収納スペース ⑤職員の福利厚生や利便性に配慮した更衣室、休憩室等 <p>(4)議会機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民に開かれた身近な議会 ②傍聴席は市民ニーズや利用しやすさに配慮 ③議場や委員会室は市民利用などの多目的利用への対応 <p>(5)防災機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災センター機能の導入 ②地域防災計画との整合を図り、必要となる付帯的防災機能の導入 <p>(6)市民機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参加と協働によるまちづくりの拠点として、市民、行政、議会が共同で利用する情報共有スペース ②市民活動を支える交流の場として、市民が気楽に立ち寄り意見交換や打合せができ、展示会などにも多目的に利用できる交流スペースの導入 ③同様な交流スペースとして、レストランや喫茶室の設置 ④正面玄関のロビーは市民がくつろげ、利用しやすい空間であるとともに、平塚市をアピールする空間 ⑤屋外の広場スペース等は交流イベントなどの利用が可能なづくり <p>(7)施設管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個人情報や行政情報を適切に管理するとともに、休日や夜間などの庁舎管理に対応したセキュリティ機能の充実 ②照明や空調・換気設備は省エネに配慮し、適切な区分の個別使用に対応したシステムの導入 ③上記のセキュリティ管理や設備管理等は中央監視方式などによる省力化
千葉県浦安市	<p>(1)市民のニーズに応える便利でわかりやすい庁舎機能（案内／窓口／相談）</p> <p>(2)災害に備える防災拠点機能（災害対策本部機能／高水準の耐震性能）</p> <p>(3)市民協働のまちづくりの拠点機能（交流・相談・情報交換の場／情報センター機能／市民の交流空間やイベント空間）</p> <p>(4)市民に開かれた議会施設（活発な議会活動のできる施設、傍聴施設／市民交流のできる議場）</p> <p>(5)効率的で働きやすい行政機能（執務機能／会議・打ち合わせ機能／福利厚生施設／セキュリティ機能）</p> <p>(6)利用者の需要に対応した駐車場及び駐輪場（駐車場／駐輪場）</p>

新庁舎整備事例	基本構想での導入機能
東京都福生市	<p>(1)防災機能 災害対策の拠点として高い耐震性能が必要であり、通常の5割増しの耐震強度を目標とし、免震工法についても検討します。災害対策本部の開設スペース、自家発電設備、無線設備、備蓄倉庫、災害対策活動の場としてのオープンスペース(防災広場)の確保</p> <p>(2)市民サービス機能 総合窓口を開設してワンストップサービスができる環境とします。便利で親しみやすく、わかりやすい配置計画、サイン(案内板等)計画に努め、案内業務、市民相談業務、情報公開業務などの充実</p> <p>(3)政策立案・議会機能 最高意思決定機関としての議会機能の独立性を確保し、関連する諸室を整備します。それとともに、市民の市政参加のため、傍聴機能の強化、身近で親しみやすい配置計画、空間計画</p> <p>(4)行政執務機能 情報化に対応した設備環境とし、機能的で効率的な執務空間とします。変化する組織、機能に柔軟に対応できる構造とするとともに、日常的にも横断的な事務執行や季節により変化する事務に対応できる空間を整備</p> <p>(5)駐車場 地下式、立体化などを検討し、来庁者用として100台、公用車用として50台程度の確保</p> <p>(6)その他 会議室は多目的に使用できるよう計画、もくせい会館との連絡通路の確保、受動喫煙を防止するための喫煙室は完全分離して設置。</p>
福島県福島市	<p>(1)政策立案・議決機能群(議会関連・市民参加関連) 議会の独立性を確保するとともに、議会の意思決定にふさわしい議場や会議室等の整備を図る。議会関連の機能に加えて、市民の市政参加のための機能として、例えば市民委員会の開催の場や、議員と市民の交流ロビーなどを一体の機能群として位置づける。これらは、市民参加の誘導のしやすさや、市民に開かれた議会のあり方などを配慮して配置する。</p> <p>(2)政策執行機能群(行政執務関連) 情報化時代における執務に即したスリムで効率的な配置とする。また、市民やNPO等との行政施策面の協働を想定して、開かれた執務環境を実現する。市町村間の広域連携や交流の場を適切に設ける。災害発生時には災害対策活動の拠点としての機能を果たし、日常的利用を念頭においた施設整備を図る。</p> <p>(3)市民サービス・福利厚生機能群 市民生活、市民活動等を支える開かれた市役所づくりの一環として、窓口部門をはじめとした市民サービス機能などを親しみやすく、分かりやすく配置し、利便性の高い快適な施設とする。また、レストランなどの福利厚生機能を市民に開放する。これらの機能は、市民広場やシビックモールなどの市民を迎える外部空間に面して低層部分に配置し、賑わいのある街並みの形成を目指す。</p> <p>(4)交通関連機能群 駐車場については、現状の市民の来庁実態に即して必要な機能を確保するが、例えば、パーク&ライド*のための駐車場利用など休日における効率的な活用を目指す。駐車場出入口とあわせて、車寄せ、タクシー乗り場等を適切に配置する。バスについては、循環バスの活用やターミナル機能の導入等を検討する。市民の身近な足としての自転車利用を促進するため、自転車駐車を適切に配置する。</p> <p>(5)ユーティリティ関連機能群 新庁舎の機能や活動を支える施設・設備については、ユニバーサルデザインと省エネルギー・省資源化・長寿命化を重視した整備を行う。防災機能としては、災害対策活動の拠点の役割を果たすために、建物の安全性の確保(震度7程度で建物の一部損壊はあっても、災害対策活動に支障をきたさない強度)や、代替エネルギー源等による自立性の確保、災害活動に対応した規模のオープンスペース(市民広場等)の確保を図る。今後の発達が予想される情報化に関しては、その時点における最良の技術を効率的に活用する。</p>
茨城県つくば市	※基本方針と同様

